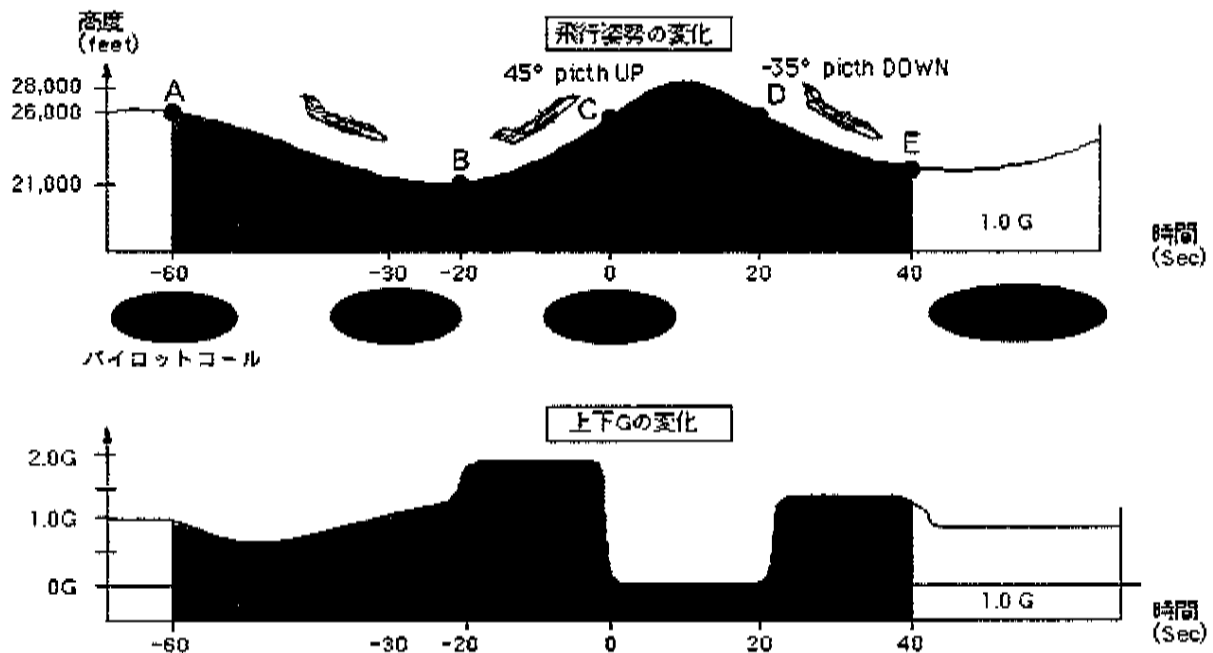


飛行パターン

機内での実験・観察には、離陸直後から着陸までのすべての時間を活用します。
特に無重力実験は、実験空域到着後、下図のような飛行パターンを数回繰り返します（約1時間）。また、無重力状態になる直前に約2Gになりますので、これを使った実験も可能です。



その他の実験

上空で雲の様子を観察したり、機外の温度をはかる工夫をしてみませんか？
また、地上では、航空機のがどのように整備されているかを見ることで、安全管理の方法について、いろいろな工夫を学ぶことができます。

お問い合わせ先

東京学芸大学理科教育高度支援センター
担当 田(でん)
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
TEL/FAX 042-329-7526
E-mail : ascest@u-gakugei.ac.jp
<http://www.u-gakugei.ac.jp/~ascest/index.html>

ASCeST
Advanced Support Center
for Science Teachers
Tokyo Gakugei University